

平成 2 2 年 第 4 回

教育委員会定例会会議録

平成 2 2 年 4 月 7 日

中央区教育委員会

平成22年第4回教育委員会定例会会議録

開会日時 平成22年4月7日(水) 午後4時00分

場 所 中央区役所6階会議室

出席委員 中央区教育委員会委員長 鈴木ゆか
委 員 松川昭義
委 員 永嶋久子
委 員 安達公一
教育長 高橋春雄

説明のために出席した事務局職員

次 長 新治 満
庶務課長 田野則雄
副 参 事 遠藤 誠
学務課長 長嶋育夫
指導室長 和田利次
統括指導主事 佐藤 太
統括指導主事 山崎 隆
図書文化財課長 濱田 徹
スポーツ課長 高橋宏幸

書 記 中央区教育委員会事務局

庶務係長 印田広一
庶務係員 渡邊和歌子

開 議 午後4時00分鈴木委員長開会宣言

会議規則第30条による署名委員

委員長 鈴木ゆか
委 員 永嶋久子

日程第1 議案第25号

平成22年度中央区教科書選定委員(小学校)の選任について

日程第2 議案第26号

平成22年度小学校教科書採択に係る諮問について

日程第3 報告事項

各課事業報告について

委員長 ただいまから平成 22 年第 4 回教育委員会定例会を開会いたします。
はじめに、本日の会議録の署名委員を指名いたします。本日は永嶋委員に
お願いします。

なお、案件の関係で、区民部スポーツ課長に出席をお願いしております。

次に、3 月 31 日開会の第 3 回教育委員会定例会におきまして、「教育委員会
事務局幹部職員の人事について」が可決され、4 月 1 日に辞令の交付を行いま
したことをご報告いたします。

それでは、新たに就任された新治次長、田野庶務課長、就任のごあいさつ
をお願いいたします。

(次長、庶務課長自席にて挨拶)

委員長 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

また、本日の定例会から、山崎統括指導主事にご出席いただくことにしま
したので、よろしくお願いいたします。山崎統括指導主事、一言ごあいさつ
をお願いします。

(山崎統括指導主事自席にて挨拶)

委員長 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の日程に入ります。

日程第 1、議案第 25 号「平成 22 年度中央区教科書選定委員（小学校）の
選任について」は、教科書選択に関する事項でありますので、会議は非公開
といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議ないものと認めます。よって、地方教育行政の組織及び運営に関す
る法律第 13 条第 6 項の規定に基づき、会議は非公開とすることに決定いたし
ました。

傍聴の方はいらっしゃらないので、このまま進めさせていただきます。

————— 非公開教育委員会 —————

(午後 4 時 06 分 定例会再開)

委員長 次に、日程第 2、議案第 26 号を議題といたします。議案第 26 号を書記、
朗読してください。

(書記朗読)

委員長 それでは、次長から提案説明をお願いします。

次 長 議案第 26 号「平成 22 年度小学校教科書採択に係る諮問」について提案説
明

委 員 長 ただいまの説明について、ご質問などございますか。
 （「なし」の声あり）

委 員 長 ご質問等ないようですので、本案を可決することにご異議ございませんか。
 （「異議なし」の声あり）

委 員 長 ご異議ないものと認めます。よって、議案第 26 号は原案のとおり可決されました。

 次に日程第 3、報告事項について、順次報告願います。

学務課長 「平成 22 年度在籍児童・生徒・園児数及び学級数」について資料 1 により報告

 「平成 22 年度区立学校・幼稚園周年行事」について資料 2 により報告

指導室長 「平成 22 年度中央区教育委員会研究奨励校(園)」について資料 3 により報告

 報告

図書文化財課長 「平成 22 年度「子ども読書の日」記念事業の実施」について資料 4 により報告

 報告

スポーツ課長 「平成 22 年度スポーツ事業」について資料 5 により報告

指導室長、図書文化財課長

 「意見・要望について」資料 6 により報告

委 員 長 ただいままでの報告について、ご質問などございましたら、お伺いいたします。

 本日はスポーツ課長がお見えですので、スポーツ事業などに関して何かございますか。

 （「なし」の声あり）

委 員 長 それでは、スポーツ課長にはお疲れさまでございました。退席していただいて結構です。ありがとうございました。

 （スポーツ課長退席）

委 員 長 そのほかで、何か委員の方からご意見などございましたら、お伺いいたします。いかがでしょうか。

松川委員 区長への手紙のうち久松小学校の件ですが、その方はまず学校に話をしてその後に教育委員会へ話をしているのでしょうか。つまりそういった手順を踏んでの区長への手紙なののでしょうか。これを見ると、直接教育委員会に来ているように思われますが。

指導室長 このケースにつきましては、教育委員会に直接来たもので、私どもの方から学校に連絡をしました。

松川委員 そうですか。こういうケースはまず学校に話をすべきだと思いますね。学校でも「何かあったら連絡してください」という指導をすべきではないのでしょうか。学校長は学校現場の責任者なのでですから、現場で解決すべきこと

は現場で解決するということが必要だと思います。また、保護者の方もすぐ教育委員会に連絡ということでなく、まずは学校に伝えるというコミュニケーションが必要だと思います。

指導室長 学校では「何かあれば担任または管理職に話してほしい」ということを伝えてはいるのですが、保護者の方のお気持ちの中に学校不信ということもあるのかも知れません。いずれにしましても、学校に対してさらに指導をしてまいります。

安達委員 このことについて担任の先生は把握していたのですか。

指導室長 この件に関しては、子どもたちの何人かはわかっていたということですが、担任はこの時点では把握していなかったということです。

安達委員 どういう状況だったのかというところが具体的にわからないので何とも言えませんが、やはり担任の先生がなぜそれを見つけられなかったのかというところにも問題があるように思います。その点についてもご指導いただければと思います。こういうことがしっかりと行われませんと、保護者と学校・担任との信頼関係が生まれませんと思います。

指導室長 委員ご指摘のとおりでございます。その点につきましても指導をしてまいります。

永嶋委員 先日の卒業式のとき、段上に全員が並んで、いろいろな思い出を一言ずつ発言するようなシーンがありましたが、区長への手紙のなかにある「卒業式の練習等に多くの時間を費やしている」というのは多分こういったことの練習に時間がかかっているということだと思うのですが、大体どれぐらいの練習をするのですか。

指導室長 これは、どの程度やるかによっても違うと思われませんが、代表の子だけが声を出すというものではありませんのでやはり時間がかかると思います。申し訳ありませんが具体的にどれだけ練習をしたかということについては手元に資料がないのでわかりません。

永嶋委員 みんな公平に一言ずつ発言させるといういわば脚本をつくるわけですから、やはり練習も大変ですよね。それに、子どもによっては、すぐに覚えられる子、あるいは自分の番が来てもなかなか言えない子などいろいろいらっしゃるでしょうし。

教 育 長 あのような場で声を発するということは儀式という側面だけでなく、これも教育のひとつなんです。

どのぐらい練習することになったのか、そういう具体的なことはわかりませんが、あのこと自体は別に問題ないと思います。これも1つの表現であり、子どもたちにとっても力をつける話です。

永嶋委員 机に向かって勉強するだけが勉強ではありません。みんなの前で堂々と声

を発するということの大切さや意義をお話してもいいのではないかと思います。

指導室長 卒業式の前には謝恩会というものもあり、そこでも子どもたちの発表の場がありますので、今回の件はそれらを含め一連の卒業に向けた行事等の準備に時間が費やされたということだと思われます。

永嶋委員 しかし、この卒業式というのは人生の中で何回もあるわけではないですよね。子どもたちにとってもやはりすばらしい思い出として残ると思います。私は、そういう点からも趣旨を伝える必要があるのではないかと感じました。

指導室長 学校としても卒業に向けた取組についての説明はしていると思うのですが、おそらく時間をかけ過ぎたのではないかと私どもはとらえまして、そのような趣旨の回答をさせていただきました。

教 育 長 やはり程度の問題ですね。今回の回答のとおり卒業に向けての一連の行事は6年間の集大成であり大事なことでありますが、あまりにたくさんの時間をかけているとしたら、それはやはり考えなくてはなりません。

安達委員 学力という中にも表現力などこういうイベントを通してつけられる力もあると思いますので、それも含めた学力という部分を説明されてもいいのではないかというお話と承りました。

指導室長 いずれにしましても、子どもたちがやらされているのではなく、自ら卒業に向けてこういうことをやっていくんだという主体性の問題ではないかと思います。そういう指導がなされていれば、保護者の方にもむしろプラスのイメージで伝わってまいりますので、学校はそういう指導をしていかなくてはいけないと思っております。

安達委員 特に謝恩会での発表というのは、ほとんどの場合は子どもたちが発案してやることが多いと思うのです。私が参加した謝恩会では、子どもたちが自分で企画し、いろいろな小道具などを作り発表していましたので、そういう部分ではほんとうにすばらしいことだと思います。

指導室長 子どもたちの発想を生かしてというのは、ほんとうに理想的な形でございます。学校としてもそのように指導を行っているところですが、その辺の時間のかけ方という点につきましてはやはりある程度考えていかなくてはいけないと思っております。

安達委員 謝恩会自体が悪いことではないわけです。今までお世話になった先生方に対してお世話になりましたという発表をすることは、子どもたちにとって意味があることだと思いますので、その辺を保護者の方に十分理解していただきたいと思います。

永嶋委員 そうですね。

委 員 長 ほかには何か、ございますか。

(「なし」の声あり)

委員長 ほかにご意見等ないようですので、これで本日の委員会を閉会いたします。

午後4時45分 鈴木委員長閉会宣言

署名委員